水荒り

故二个清心を和板手 善介目録序文和好是一作者三人之全書,作者之故是李章 和我,拉克介草、悪政等意り技了之事到了之也其時分官本 毎からかは後唐本渡りいる異本でり し其外異同了」在上今日唐本世科、少世人哈和极用心 構むド海かりあきり八名降りラスントナ 二巻いナレタハコンカラス不可投

49781

生美一朝女りウキドハケン若が 五一下了上移 納目其外 えアルモー 」対きの奴ノ集解した、似えき けれたより生姜、似れ、非る美ノ気ラナス ノシモ州 野女楽ピノコモギ 一个人对写如 でランハヒメヨモキしも似る トアル似タりえれ白ー

東ナノステ 動物平 首十字菜之葉如十字今處了多生了 此说七一程之日 ラウケミリントる大たモノン東不喰五枝ハラグ 是根モ牛房ノダン芸用で大さき、空ン教芸 ナススが正名中房上も看妻トも今殿 を苦苣子り ナ五枝ララスユー 相模多多葉三角 シアリ たマルタル 是いおんかうる黄プロトサンロノ黄トゆった生 あいさいう若差ハイサで取るありおりかつ 久養性産子人ろうう 小りつきに名ま月しトアングラ 見び菊葉 桿家ノ里きら是 剪類甚多レ東ナキ、苦英類生 トも分ナハアレビ大小ノデをおうで平次 マチラ 動下大動山里不青少里名 食ご屋 上說手此一上說了 古名十二生味素を 今年味では多り見でる 郊 ノヤウスナルモノ アルラハ家花三春で 人際繁 ラり和名いる 子をうな動り見る えてクナーのをは とく、未想甚漏意 としたんだきる 春日キモノジ

まる記多レフト、夫へい屋音を急就事 南西縁竹とこく誤しますまでやとり、銀茶 樊雪草 方かとろびきり間見いただりなるり事子人 ン古も者ナー 養上、上、からかかあモフキナリ高を感えり 又野生了五天名精一名五十時 急车 うサナリウワフトモ吸嗽っためアリ 環ながりテひ字ラナスハケケフ、ヒンノあすいナスモノ卯 陳上五二品別。後名了りの根生死处方 牛糠只 生様のかずりすりせんを 生様 股ハサストるしてキハラランノデーかんくいろう 山城音毎滝こ多シフサラはこことして ツラナグラクロファリ コウカー、稀シテ園會見すりと手門類と 温とりなみカラクナナドラよりテカサレヨノよ 人居以中族が一人一年、五年族ころ 夏三七八日出山生 と ラファナン英用でナラマタカラクな張良い 一葉繁焼ではる意と生人主味い 又柳葉人青紫茶生之了了 ソシャリ -人美しき、アル石湖高温アクバー美 乱军康、野生」夢 ートンモノの是社 籍第二人手根唐 美生,備急奏

を押えしいたとうとないされているりからうき 紅花葉黄人子八花好黄色大小刺刺来它又 石竹子的字科グラナン名大南ト六年富 大虚いをいりョウファリ大は来美しちった青 ラ食フ アサミではうんし如此トラチアと、出別ラ上は干ャウン ヨリ遊脂ノとヨウタン性温まれたかと葉ノ聖 百年三月七股節岐アルコト六水へ し住ちょうに生フラウロスンタイトを子だるまだしまして 方草と香みナギノシノンナノカマッリ草ノ ナ大学を行り引きりををを行る行手を リモラカヤスと成於を馬ノ気が形と似すれたり 類ラートを付けし帰城 海辛アリス章 通り子門がくこちり自いモナンな暖く子で アリ記文、然花些上談上管下内トラ花記文、 多りと言記文言該人子神行からりたまれて引花アリト知心記姓人諸社がくられ リナを行う午後アリ第用へ野ナラとはと 今後をてテむだかとる

白水红苗書写可及白子でカウラス水紅 車輪東ラン教をり根玉ころを用か おし様もフィーよ出えてして大空草と生産した とすスト列を後ろり大八重ン書デフィト出え つテイルに成意に打造車粉像児父びろいる ト云モノてノロシボハンをランと上たって、ナンテラブラト 華子と大葉ハアと住すって小葉ノ王替の名し 北上十八丁之草 暦客教書 例入うとううとそ 即とって一記藤英一名屋置 怨養を方水の記旨光キをかり見えきない安雅 、シラ六出し一重ノ小金ーーし星ナキラ感したらん アヤベレリキスグセフティンだトスななししヒメケワ神 (到、ようり康一上宣奉一つとれて失勝し記するりりことを降見くするがとをは なれいトシストナランちもを大きないとっといれたるも言 白文方前ではったい山大小ツ四目ノ毛あり 在いち名し又なもろいて下秋な物知日もろ 軍尾草是テガンを戸歴、対しき、文 えば、しとノクハライン全球をし三出火品小 以んとも上れるなまりあるとなんことを信い 人子下門一中ツクシラシ年名は八トラス凡下を字色 すスグララナるようとうとうりを建り記えべ

tei.

黄香百岁 第一切と視楽八羊 歯ト引し甲がクラスアルな ノ四角を使うナンアンマリたで茶は首着り如 ラ云手教人夫角な黄ノ角と引し黄ったっ ノ流りり红根 黄花之茶菇 トろうどを黄い 夜の宝上にんと疾を発了すりますより り宝で似りり味甘りとと疾を食ると一般苦き 二花了此書之程多限セリ羊富葉上花 黄着 去シラデ スキトるはなかとりまると合え来キモノ国士ラリ ラス綿 テラス物ラを陸疏、見つりは水しき着類に大小物かった馬をイスタララウスタラ 俗名と意いれたいけりまたくうちりな意いりとうこれにことればい数をし 斜ショス備急を押し季花二後に是幸 對了云特生与八作大者八石星人記べく大 を日、首芸伯ノ主要者ナナン大差が首名ノフンヤ 根之門黄松之下云白了五十五次至了白 一年南中で赤き木を東モアリヤを し三種から一種秋で 力光等草源首所说实言名说 一英項を真皮如綿ッなべんを やんとうみなるします子は記なくまするというところうが なれた人うナキュし根堂い

村了 るの神は後八西岩藤 祭れたる シメをうり えら右水のチャラいう微から行きしゃ いヨリテモトを苗高トるヨリ馬もか 小が改でといる人が産人生くと思したが死、国公子関水声とも三記る 公戶十十一群芳稿 花大芳等 強化し 少大块工 土地のりるなけら有べいる 庚コノコト なら記ろ 玄星な路にも安ける テモ日東した春 八分かそんの決り 《金茶 安ナララテ ってクタ 施

村門見直推注記南又名益好之分益度已益 風一風就共山シジト央ノ雅と到葵へられアラーし青 東上一大维生育等美了灰了上三種了 山之之三程之实、胡葵、不似此此人下了九 香ノをアリ 度うたり真しる方風、履行風ご月南り 方奏し此変然をりとの要弄著ら附子 实 ひとかりを安かいもうとを変えるす らりろいき二段难少在八成器人教を来し 万葵习说五程程了了到去公根的气了去 が安ナネタキノシンへ 大がスケな妹、棒球してり結果しまといろ 領人異名野天林上山具上六野天麻八个 言葉葉小山シンシャ似り来とあってントロンはり個月 方及一次平台新春人記いサスちなしこと 徐ミアリル、草屋から大きしかく来 アリ真ないと美着して、姓的頭でちる 時代んんきとのハウンシン大いけままい 香がごう用さい 有要了業肥取較治垂之人的棒 追うシルツキり 展生/美でたし智 シリ網目車芸

チウ とだほ 一個トモングア 至一院 复獅 だシ族 華人物,到物方 一般了 1月五夕一味酸と大龍地近 カウッキ ラ白うべん たにと 公子用 单公 心心室 年からとを行 老皆自汁 私等可名異物 新人唐 ハスル 定產 キビノ 五年三 六

说了答此的写文、似了上人图多季、似 まナルアリナー 八萬天川萬二程 るる状となる方法の混なし らるからのかりかる でありかっきりを後を見るり 新田相代上心谷又 是文夏松二为鉄 風古女八似メモノンヨナとまトモをくすもりと図一支和 西青土茴香八 今り苦様とちなずとりもなたく見し クラット 弘景九光以住日治花川芳蜘蛛香以 モンギョイナ 月一般一福州 文者是能也影白相代心名 な在して他がありかろれてして も見から改きるおというである 一路之野具苗上己公五五人名 大菜人極考了事中人心 見し 角 し成於後 故差湯とうこ 持を出す。盛 老カピタナンラー人首を 人なか トンウスを 府走出到院 方をヨメナ人似ア施屋 面り インド

子丹外 到一海州白鹭的 曹元州、李英王、中东、京、京、 具物し原学根大教を屋と思てを真し秦州、野 れとういうえまり歌州人類でルス 麦門を至下るべい肥やまべま程大葉では衛急を 水花七十八七三程之方(南学州下多海 胡科意的人心情玩的人名美丽冬葉 リトランな歌ノかとかりとがる大切であれてころと前 年子人国大社前村マンノラン神事りかれて **香野苦しいる人前的で混シターと論り角色** るマユントロし 州省八列之軍言主任了列又全海船之人前的 る業し是人引物しいみ幸上へ好き上一種し銀 那人好飲食以苦菜上善朝在業上二哥り遊芳 教とこれならんトラーなおと八月上丁ラリ未知可 トシモノンをたるがしは日尾菜をまた能比セリと 一名去言の上を日名異物と月合うに多ま苦 り物の引出程しるデ田五種了福日次了 付了りたる芸芸をとうり放れると何要家 与麦州冬季、此人が辛したノヤで有い とはなりとなっ 三記以芝菜、蜘蛛者上 奉一名野新到物 多面門左 菱島

前期ノタブを言り料を記事門生をなりましてれる 電階章 アクショをかしりよりタートならい チアンの此所ノーー大洲狗老秋ノ田村草 達せ局公時人なき、アラス四大で出りたと ま、似ダリ多有ルモノンの風花菜を稀ァリ引 若はそのとりのも甚似り野中着未体 与鞭子、电子不降少三个智管的作之行 本言をいうりとるも行写家ができれる変又皇章 ラバトも当種国、似名か小前城 候を至う、大利をすべるうるし見見り深ルし 与鞭子似えない石水馬鞭子口物におけ ツナ、かし野艾ろりを車前子を上をおしていているというというというというますとれたある見をする ナクトろとし間居居注之しで水竜に重点上を見せているとう 引物ナラン野事をないかりとそう方をまさつ 石高陰勇言・見香りとトウトラルる作る大利 下了意义生去之引到了医名了的了了 て小れ名しな言る書意名神何し 名胆生し竜葵にないて 第十 カサーカおぼ 花傳名朝上至 しぬけとんろ 大和かきますり 名正怕人生 一級桿高 類るか

川島川上極大出展とお上成式する夢野を強 比柳フモカリを改建八きるとうと見たとを 1人とり、それる外里裏白天堂ころった了 更んはなないないというとには人るトウロ来んなしてんとないとうとうとするはれたいないとうと たとし後、なきやするとう馬街ちょうとまいい 文赤如答果本冬夏安安生多月记赤上了冬百多安取生也男——为梅苦了上之"似了吴苦百本帅女亲细春一声里 う見る始此情 東言」四極時列出引後サラ 包第一等解手人等不一吃床于大小了 青り引いてり時代人死トタがり直見りちますいアルの時 シレヤ知うで、江目をはっちり一種えんりかっナキャラ 是到物的是第一馬一九任根意至本人如了 大分小里,上小里を産ーしる方住と 子華公社で白芒葉、大葉ノちトとき東本ノデ 移る蜀川省自形小ただっわ大和軍要与了中 日人教名はり題ちと意り根名し野川る限 可爆 とろうことは見ているたとしい時代以上もラいてきるり 上多曲三後心似开上的左京下之似并上地床

更完一年中上了了些一時人成了人工任首京 七月三はかどを動を物ラ子たりりまるを安以事が十十十年があるからととなるり動をから触似り 精月華南意若水人名えいすたこと網月にき 色白光智、高い青色、青高黄色、黄儿教儿 字ファアリーの実を結了皆角語しなべてたらき角 泥州東し時青高葉り物たべん人心高去白 むうころうい しといし 木子大 今蓮ちょ 新男子角月上可考 国でも相合とき高り名美石竹までライナス様文実 言見いて大根トちも人型一個人真同遇~有り此 ちむから、好明可愛と云王をあけて似ろりとろうい 俗名羽其上云麦さい古みて言难心的床子至上 青しく高ノアラノケラけり白声技で意うけん 程は其り綱目を大かいようりとり綱目と我いて、我高力を存り異なるとり教だるとなっ 網目角盖了冬下。異名之原香到除玉其冬 其其似包書向上了了全有苦的其上多り分に誤る非る タリトシモノ多三種ナラ西然子、鬼終子とのならなっ

松荒本州記聞卷之終

校荒本州的間卷至

特梗一包まらえる混い ち名と後世、徳灵 去変いえい特梗が心三角を存んでする用りい 以花り用了一村店上去和名桔梗手も 中有少新危上六

梗)随年高一台湯 紀偏見)常 谷葉とろ、生科 初奏之春葉之甚似名字即一時 似了光類総子古来下文以馬信 とえりをいりすりをた

及色飲一升北神精梗苦 · 宣隐忍草· 苗似特梗上 是, 台網目春尾/条: 曹人隐己少了时後方了引 **庁时後方当見と日治者奉** 皆食シレアリち明珍里

テンマカワし山南山 光考諸十八代的了了大人不敢了之り名水南東北地主也以外面村来上似了初生一年七代了 寄奴ら決了無極いる、意ツイへくん般を努り たがテモアリを大学をたまりに南てカノモんれるだる ちとれないころはんとうはちりろうこととでりって 見られたてもん水でを変だちずる手泉とる 展陳氏小草草町からまかろうろうとも蘇 園頭時に南人大少馬とる花形、馬人でとう ドリンヤウゴン 湖公司奏 成於時里人記事奏人名り其他人 トアルヨリヒョトリンドウィースサンだがる国でも能合もり 養於多學 ましるをし馬南、三色アリフナバカでとうってたかり 甜語意芳榜梗声以何物九三十分不知维之文 えてし神る了一年事女うう〇種ん出南を有 大方 青把行名 凍功之を有り野茶、野美 上学了年後、地松去車佐花、ちょうこうり中 ケンナモし枚マラストるそり名んなし大名精 アルー真でアチルシ馬トる我邦カラリち大り し、アチバリテ物ラクン火松草とる重移 告棄沙冬少春花与甜苦一程 茂夢だしむ意うなく到

はるサンシモノこったアリ古来ラリアモタカトリス等を 七紫梅心り可参考者 ぼり中して、美子照尾上からり工沢写がち一物し沢 サンフモダナノ用子ナモタカノ物名了然尾菜トランス 己又城、アナモシノ童大臣住レス一行 包护 イボッカスルとい 以大名精之功可将以以大了子名し ヤシス からわし後世年草大青之紙えた 水有ラ大たちもし日奏し水りかも迎用る 再,生死三女及重女五天了一葉 そう根できりとまりと大見る おり来上方三十八 し個其室人産八二上に日モ大し回る 小中ラリラ根要多至巻 雪とうを奏 をだっカタン 行うと大名精し大名精 世史、三程アリー文 草汉污处如 シー

松宝老 水高苣 我與多一好水遍 生和名力子女种菜 見腹ステヤテ、変な自執トランルで酸と意味とんか用からんれたといま 不正頭東 タスタをを展するうと大葉、又生星 水辣菜受性高し味を報した水車だけら水辣菜ですう 金器取りてきる東村の以下居られまって黄でしたり はこのからこうちずしるモノリングラノ形状を洋のある 十即網中養問高十三個可考此形式審天 をとれて、能合えとノアリハンジンラーに似えてノン 早るんそし馬葵となるで似て作れたと マナク、えんま下り形 モシナラと称んとチラン 草ノ北たころとう一モシニタントろう〇北者夏祭 り類多らいなってんうといした声いたとしたへ 差案前計 在 老大は場 とりせんとしいかん らよる夏木徳少出心の用地者馬脚を重り治 一年アナナナートラーえり来塩年物 一年ノテノれノ名たべいいラクリよいコトナルへいだ いえと短京公長いる大州先生アラ サヤン

楊萬北物公年た公唯美、歌ナモカリ小骨突宛 一尾菜 宋六田小中二種アリ常ノ宋不少妻丁 北朝大きれてかくテナイヤットをかりかし大ツ上ていちょうりきる をきかっていまりすうとうとんりの花花りって を死死作、養養環、ラテ形状や異し物色、不精固安中、半、大人園一変が常り来しる西漢等」とは要ない理共らもたプリを生し 三丁の北三程可考上或人子の大州和日子世即神 ランチ属具苗、似一至、三月を教えラリスナを神下 可花芳金到南、至了了公俗、和山南東上台中里 三が物くても一帯/園安/野生見へ うる南水となれる葉は見動きで似た廣名自己 菜分是亦野雞頸 茎末。他了了不了是那人是草、似青紫色 程了了一个人一个大多人的人人一个人一个人一个人 名式者リントウトをモノシ トをもくかテプルなども日をゆナランなるまま、歌風し 人が、テログナンナルモノラは結大しの電面シラインを 人首及其間,自己則里实力給之其似全图刺草 「歌アリ 夢と近ス 彩 医統 乔作儿孩山中一中房下至了了 野雞頭二種兒児尾苗書相子山東公小

至くラリ王子自然文書の西三合半できる 多少数人分茶、克丁托至 向以物のいう首 きたい物 野紀記り解ドラス良 ラかえしたわってればくまう 一豆ホドノチガイラルグ 運じ でララル大 国族似の数回行名グレケントろト うと程で似えモノアレに差方ナラで ーシテ、色え合しも並 七六股了 不合ヤツナ 家爷~似无父根 狼牙么下 カブノナキ ナランツトコホウス首 軍之一种著 了一个歷知苦 小骨突实分 園る園芸にた 常是超到 多人物色 人た、史史屋 東似

校荒本州記闻卷之三然 胖人学子,那一見一心就神小的工 菱德 外ア 化钳罗色要 了州又名 終日補フ天茶名を世界門とう 一個日建 佳颂说公安 多子る すると心間世分更の一時に安人記 主菊子 けとハイナこのキリンゴーはきえ大洲音 公東、四方 作根名い葉状 グえかし鉄桿 大船ラトラクナトラケン 南下云馬南シンチク 明之春ランドならま野刺 苦のりつうて生ん 目章作

男刀股三丁数程了意 ~指甲来 木 漳 ターしこカナトないのの 意生演生物 子サ等通ノ言 何名たべい妙物七程二程 いるいかいとかなり 作八作新民 朝間老多 作三脚 校国:能似引苦苣分 クジラフトもむ又 かとエラソ

子不解シロキュナラシンドろ ヤウンに書きる 大マラ変と見 2世美華 東たモ ニュメモョアレトモ 心馬根ラン 六月南公田月· 之有少 デラ生でい 丁草 全送日まどろ八粉 のない観音い 化住レ アト、モタラクラリ ラスカケラ 安结 代書と 便知しる!

包配来 明電光シカサスラブ落 上年角光 ノワウに漏 ハトシモ 五月光 文学 えん除下 三人綱目縣之 りい日をしましてりたあり 生味辛 徐長鄉以 同物 草 少是 色気フル 后をリナ似半 女、因子マラエニ し富生中 具外、味为 天人まか 三馬ぶ 後網月 見記

門と来る い似テラ素小紅 アスラを竜馬を 北二村 **甲州山中,** し京都 人黄情 八子里及られら 公南人苦、对谷と甘草人甘土如八 ころと見き教業シースを読高しる子 物といたちと野灰八常く茶 乳腫ラ治ないョフラ州、シトシ田舎 おたい花前 子結末次入 ラカセ共行名異物の和名大知 生尾菜、金黑刺 如う物生苗少年では多 優島。生至大した人 次セリイナスナルテ からぞ ヒナヨモキト 泰少及是黎

董美京天根,如神美心屋已来布袋 五猫、人月治異物シンなると、個目人子下,温起 首香 抗娘 曼生活學 字言見人全有高東一似了角实给大手户り 見元子 白高一般真皇高公 李母康多是高多人智 ききませ 和名とコモキ即政代之陸生者之 丁多有リ 北空馬苗東一般 な動称董四子與門上吸むまりる 也看了り真うた前香了野 用ントノンント 等是軍上到國語人華沙島頭下久 后初生 書人里高い月經了日本 尾人短キモノラシを出しれ物木 芸的入用たそく 来教也 少世とヨフタグラフトちゃん し此国(似り)にえれ 己我那是公安京 信州

松荒を外紀間をこかけ 校艺冬叶 皆自苦心 台書をなばら 天不石 下卷月 記聞着之四 唇野 下音角 火へル 程とこうこ 巨光的 会考び クラ てれん جُ ﴿

第二年、旅代多来で長り入似

ブー・聖典が 以感点, 名義能合, 考見公治和為 新見草が書き、往うり赤色独

こすいろうでかんり乗形をからしまい似りと見る 淡九丁决了少半高一载人,年人有上見 未見诸家を草、至人 と見た宏 ヤラ見たなを東か 紹ナ、そいちをうせい 指原人人名 シガヤ

を鶴物でくれたりと見野切種殿主若 ているえきり作い立かる。次へしの先生再方でアラデン室ノ似为しててて、東味知しるすいいなる マケヤアトラ ヒンホウナワラ又名がファラン次で青色ナンなっ

柿根高一分前一分前人類ようの先生再考さ 鶏勝夫こう子とます 青芸品ナラン 老水科となかてえ シノヒノングラ

是ころが智言をうてもは

後菜 スラナなる難退免し難退免いとっちで似くり去 相が、有り 為可 セノシジン草 水カラ つとう苦再光 學可先 可な安切いフケナタモ納られてシマナンヤ 了了意里上特生的一見了 五年、似 似り三種共花り一般といろ ういるモー ア グリシク音ー 似名物多し 华芬茶公 て明ステ 物しも建造 大を可少に 者をシスナ少年 トシ音ジ月六ンつ でノかキモタ生ンで トシを安争し 少里麦少 採字たつ 之似义按 菜茶甚黑

山下東」もついた。似り山とフトをえ一品出たトラアリナ 鹿蔵菜」らんかっと子或白シロララーチーをとより 他白練事をナンラを松たべい 等事棒 三月長りばると さい似えいろう可考察河原教師、似物し がにはまるとまれるかかアノイハラショクヒナラン形状しまるマ 五洲 生なんもり れるアイラナランが、北西島児苗モフナハラ 職業 葛雷遇了多了 回鄉以 トラノ尾首 見好食さ 数をる 意り用テ不安大难決首変生文を持 金田東人类皆なり 村業でいた大学人 似的雪净,李素用为包 きりょう見ないたにう 分等方山村でる記録 比較思树芽 ら種"似り起て 多以物たい ナシスラオ、似テル陸こ 去你佛人里上称九三天所 アリ其外震ることこり

蜀葵少萬信之方 ショだ

自死しは見えんた 死即皇死

歌大政前と物中〇と言下ナシ投,付生局方 生局方着一份ないる 高上異なしとかりきょ馬声雑項草

狗筋夏大洋或文で人養碗子 華高上数,说了人人一年能當了

教艺本神 卷之四路

故完本此記問老之五

を高回をシスタイプか THUE 人国ラハゼ 電子屋頭回有り一物ナラを叫京 い面トシアとシャウたな、疑え 好問 也情傷寒温吃污 類言葉ラグルノかっま シャンとも似タリ

於新萄 花里生表 多アリロデモアリーカッテい 到葵夏原次与菜子"充之了少吃为美人 ラス記劇疑け可心大理 如菜 經目一年以藤日出 たるぎ 高勤子校がなをランサモを回ったとう! 了黄白色菜珠是苦之易去,生了实丸分横下了 つ葉行 九小をりり 頭とれる谷中ノ 名でいりまからようっていかれる似 麦)甲州中之外出了る 一种多到 マロングノトロッナンテ実を結び然 はぞなかかりに草 ちからきれまり金ノスト 生產是"似為家 ヤナ生へ 男多富吉下男 ストろし松前ノイケーとれ トライで似りせきをお ラランピーフンケチ夢 有川 一似タリ花田

第一茶とシスヤグケングラケスト 考京好 国委長業が小角光なサノフ 帯ラ五牙博黄色 小菜 未考アルへももん 引き公荷苞牡丹 丁見る銀センク、西か を方小から都って行う言い 三年文行写之草 他或在等一般一种大分人似日 き多り一種と 合原始之有り此说上展了 等可考 〇甲 倉司人茶しいた種物 一心りた芝 し黄石ジを言す 是別漢多 于至過 ラン〇七至大ラ 出禁口公 河色

を大見来サイトキで初手まちごあい似り差り抽 壓 面り物根料練ジラスをだしたしただけナマ 出シ著家 東で似りのたどとうるまた意ち、似れとしいられる 例うれて付ナノ如と「程高直受了大大元ブキ」 有り落べ引 さんをラリーナラス特生、ブウマトるが国ナル童り物した 四人と文技、此、九ヶ物了春女草ナラ 万備色自己種的 かくもカラ 道者元 章八年 り黄花集り除る表本 ア火白え 根秦花似り其上扁一部内了日七 于考一程 桔梗与花子台 いずト先輩去って、キトシリを与草 を付しトラり 了右水和百五首 如此 シノシウス野多人紫水月太美 するにといれている りてう草と京ノ梅 **野我是少年** 皆れいるとう一家 9 田門ラルる電坊 見上的左衛 き八春花 りえた水 戲作 一時の

教意如記倒老五片 买似少结了多 、似文をす村方葉 心根理以来 松木知寺考る一を初与 ヤンボック落幸 ナランの歌む馬 和名もは一或むともっろうん り活 石蒜、似豆果 こと似了左葉 そフトラト未次 学見たり 沒根有

を教を付ける方の女人か を、大きりから シ根意志がりき物丁亜シ早乳根を乗精 心根が冬"似タリフリカチラー 春葉は時尾細葉的し先響 红色宝了 苦桔梗了り沙ろ茶花桔梗 ージスフたりるとくろいとこれでり 桔梗りかたり り名古まり未祥 指梗上王治少異し 一甘苦ラ以うかっち回回 少混,諸家子 と大枝枝ラウ 沙卷之枯極 人卷译

松荒本州記聞奏之六

衡 るごろしん変えたり黄精上長したり何辛杜 既可天初丁かる丁智漢名了見安安花古春教以名とりすする智、韓人教人間、灾人之名 てりも如此からつ中かとけるいななしんがっとり 一ただりける見ずいカラエリカノモリにどうかいれても精 るで因うずくやは過ちをスキモノれし百都をような かもちていれる針で付けてうとうない 葉マナモまを重りたらって長い黄白む角でいて リノ外アリイテザノスシトシをはな事を百合とにも治 和小東方元湯をひか至り たとうたうことい五回しましてりかりたり 人家、似う角子も モ大麦三種子養微に記したと 羊乳根ンはたくはし古まくりよし 八分人かも時、改引、ひり、革用、黄精 一葉人夫處有黄色といるがあたら此次子と トえて書飲うぬくれし類しいちゃ 文末物を公子類を根とし後世十二 1是少分之平 名誤りう者機能た手廣之 古人黄精上云称是一名之姜一 黄精之野菜/物了少美! 外种葉似災都 好好及郭 八名花

草よいき大葉と其他教をアリ横麦、移類と売方裏門冬大葉やブラノレラル葉いずとともして利似んだ。奏音であり詳えい 富子根この種枝持了先半十分九でえるよう 学根をい今母ノ子ことりアワとかちゃんで用え 高京加日書が混る有場下ろ、白書·其外な書で、古 章柳松根午着一人テン枚えるまくするべんとい **宮札を自己れ、台ス後世へしられた村からくままましまがまった。種方葉し根/四を有り** 蒲シギノ細土我浦としてノララス 茶公生し如用無行公言し或至軍去がまり知さる 小利子朝子總了るし、大人只稀一意公子之別、韓丁一学、東子東子 りかんとはずれずわったかともを達すと言 英美ララモラリ花紅色ン葉花共一巻上称んモノラリ 象ノ妄言ふる場を白根があとまず信和する婦人根人しを呼いた人形ノがしい人た人像すい見る うんころうと思想にナールとうちゃん教到 住味とまくつライマアとれていたりいからこうだったれ 帯でりゆることまりとなり根味でくっまい クター有ようまく 有きをとうとうたいなうち

アか類と見る天文の政立とうれ、似了实行色を替り大次全水児 馬経らかり前り形状金山大なられば後妻と全て産後を愛きて、大麦有刈り先輩より 野中大山ノ子し風を向たり後は佛子著と二程とき 王國见一個日、黄独混了大和本草、三天野了 郷東児をお難好見かりなりようかできませんと 野胡羅道蛇季子早生教人孝子中一年表了是公在昌浦一位三黄土也多了小水 教授書としたしあるようなとうすべかとう ノ三治して生火之妻アリ人児・焼を食る苦 乳種ですもだす高物と自然生品了とが見る極毒をなるす ようだいずくるしたりもろのは、角ないろをえ ったっちう痛りなる妻に改し多食を重りみし0 五家からえはしわまる葉焼る葉し ウナかく徳上とうなますりれたが食ってる 深夏を枯しく変も地来子りかりし り诗をことを教心根を趣でなる痛べいい 上多上程上了了你不物甲州了了人来城南户城 リテノヤン故。戦ヤアラニーともは、似ったなノランともくろ 優というようれいむもうアルかまたり物には考しかつ

中華富と之殿がかかり、南、似えようをんとこだ 地をフリカナラで、似ろり、記録うるまでんとうな 華展見原始公司祭州年四十十人名中公日上公居日上 細葉が尽いたり中全テ細葉を行乗引知まり水葉 山意文をランシートを有りまってもっていりくらういきとい 老稿恭を記多いたろうをアンランの外無と一ろう 色、思想一人夏水仙し 草有り根アマナラし二を考了いれば大州先生にたりたり 異したんえのとして使りまし、黄野の変何相来い タリンス、芝産シヤ芸改になおだしてころととろり 芝了村高十八个了主題青葵花了用形翻草了下将里草了树菜。三似了的大地方了幸歌生上芝月 原始主治之甚到し ういろどれは、アケンモコウトかのまな来が服を吹 り黄色金経験と飲料室を新方と光龍い赤 茶州人態ではり近片来柴胡えなくとは好大根 月来年尾来をすうしてたとないとである を考索スン多クアルモノし なくまえし、アリーしとナ桔種 たとなし ヤラーまけえて 大人程1077カチラで、根元公世之里でを葉の

雑見頭苗 意生、似り五生ノ地しょう はつからんじてかり 引起に配合に も人が東五大きさきまではえとくり国大人解似 蛇合文唐を虚複型工作なりる事人物でするべきとを様

故意知然間考之六谷

産夫子とき事と小見人数ヨリシ変り指甲へとなり 松荒木州記聞奏之七 一種ノ歌をいりかは麦留せり関目なりましてノイラのアクルくろんと歌奏い他ノモキラ・アーシス 於法麦皆艺人類自然人家と其

同くボトウンキトラン、グで混だりい、必香を泥りまる投 東心作したいまし 中にキアグラアリ

英有了一走好一年家一家一年了一下工作也回

美州子子,百草,哥一七樓,馬家根上、初尾州比 裸子を表人物:似之家人小たりも立于も五字不敢 リテ年の落ちまでえて外別名の美な物尾腹之 さがようらておしたときたり、アリな中で多つなア 子名田上は、前人不可合方のとえりて 中子四月成二月が了り布サランでで一貫奏をたっことの時年、分一記アリ 子が美神とりほない記れていたりうんけ 产南部"テ水中"ときたし 科心を葉棒チーみ標落字と方所及要件 運持三痛桿相因依少以此之常少生 ていたけると、似うたんなすれ、子気、似れ、まちい子子で、似れの思野、たんとくてしてて又子となったちますり三種とんえのということは、ア ラツー、称くうさらしなっていていている 養教的聖典有以及黃紫花又用合明草ト 棒子しないなるるのを共らテラアラノリ州天 文注る似木り也トるにような、似タリ水を二品アリル生 イナとしにたったったんとなるれるれてよいかったち 你·葉桐菜·你野边有了常屋·产作/夏季 京宝一张下五有! 一番物引いらい同と者国名と我供三菩提

総成苗,台人去長人子等了以唐子人草を後、作人者し 陰虚しナラトラリ可だ事物トンシアクラ 童与神學者了了常, 童天馬鞭草とと福州 地用児童紅毛宝人中一種アリトシまた 野を野宇家園野できてる真味からう 山智三之竹葉ノ錦首と豆ノ大たりもの錦草先生 当中ヨリ本フトしか牙葉フラ如こなるられないないな 学友」かっていて後を見ただちているまないことをかったい 極充化を人能合う俗大根三十十七十八萬八百万日 府志、孩子子考若水夏枯草美人多人 考しいんんらんく子と通え 合子草は来長の臭いてくれど黄だちろくもアリンハイ 一類十四五行了〇七葉でよう得田底 子は少かし下りた写ま、立ろろして テンタテリンともはでいてといまっともられて色里でいくか 三利三作人人ハラリスノンリニを了了一后子草 ともみられていたことを再考へとの馬段がようり数 ノ記或をうまではするアヤヤれようたすまりと りり地根来、鱼五子芸ラケヤ火矢枯、た故を分草を 日がまかりたくえてノラナルなかりまし 電片三街半十七多シまぶ和名 下了事一意义生、视来一张似少り端一年一七代

唐月 ぎゃんれにしてなれれたり正に常思かまり 雅田東ノ州五年アン へいてけるし 羊婦世和名ギゲノを、安ラテー合えたギンくた故しま 錦為枝長崎、天館、作甘とことれ、ヨル白色名文 地構成近世际出まるとなるより見少 五高根里名"了多了少五声诗经了少素問腹中尚 妙寝到水莨ショランシリナ形をうれ戻すらり、似る者 说者食及思多意味是 可太息持力 易を連大とアリコンナリシンウンないととよりてくれまし 島故作物であり、生草シラリ大連郷ノフし アルカホウンドニコロノだりリシル、六角、メニーをナラザルアリ上世家 常思養司一名之為可製山山似名文和柳 少以テ常の思トもを耳と限とはより弘皇かも混ら必 模ノタンカンス 心之了り俗文意と酸模主路教が手蹄酸 大根人公十五十八大黄色公鄉級口之父東鄉父 生大数色子、好ルトシッルレーン かりくしし りを引を疏いる、東京人は、こうやとて来能信り 大きた了常子以子が松上到根上〇一種一般的 リンナモノーし此物妻ナン聖毒 作人心を見た月五物

見エタリニア後世方書谭成學で作覧暇示读大二二十八次を校置屋中ラスト名し家を匿記をする 家生一名過山竜とり土苗苗を過山竜といます 用に分 之本編 島东東とうラテ黒モショラボトえりアリ インチャリ特生り物でり、ラシをとか美モラインラナラ 「五丁記ラリ茶恵後世谷」三五名意屋神 一種肉桂草トシアリス按「声き唇名」と変むしょかりを

至面行二社了以我非多几七人东州、往上之 ははないますというとれたりととしばてから数 りていましいを愛きく一をしい地科水の大ーとうられ 第一八子一章一紹見似家妻よう見れる用人 り物ヨウランち右水子質ラ考と生長郷里前日薇 ノシトウを微りる月を廣義人蔵来引力と似神

達大菜子〇松里光学说的中見苦可此说了 朝校子一年之春奏多と野谷 芸艺之とかられて 東京地名上見上的数其表一般一個傳行 生っ女震かどうトトかいろういてと複なりに、似神子 とうてたうし谷名を蓝綱目首要車類、黄素原ア 相近と体長朋子うと個目、白酸、光り養死夢 り属いまいもアリケスクの子どはんとはいきもてります。ま り数末と能合が息生遊藤持生往長押し

紫花以種子 こ黄年以列院名了大きる行物校在記

大品児童キャラフキを寝眼指し が後ろうりまってあったっとからい

苦馬豆大黄茂らうきりいでとの気が大き味り 将尾地南から、似えるくななりませ

故是本華記即 之之七

校荒本草把周奏之

黃精苗英雄黄精河物,先四中安上,華老十个 そううをなりを成ってひず草白ヶ風多松、充名物シをでくれまるいまではまるとれるというをうくがくするというをうがくけいこうできるがくけいとないを らけったからも根でいいました後を対す類し

対えり住とたっていいまればるとりははできりま 公甲根人名皆苗根"图了名了日本、對字物艺 三親り見かり没し黄小胞生を生り早生をを同 1)黄精根人在鹿儿节为安健一之前为垂珠实

中皮消工如菜一種心实旗長明如少年如菜自 大阪長苗国元共にかれしたことうかとうかとう 古まいたまるとうが見されて桔梗をんかりかり 中亭子之地、多了形異心榜類十公生了大了根。朱 地黄我非"细華大葉等了地肥瘦"是人演主程長等了的物類、作人等多先軍之了 ストちそり前条中が来ったりこう彼之切らうとまたいたっただりも里皮トラと駿豆ノ人ノララス アナケタルソシナノも決長と四尺トろいれて目れからんか 尺ッカナル・アラス 一似えるとり打破れ三程し五天五枝んとる子 りたトノ引きてこうれた、シレえこのたいうとを 七路月上朝三十二十五月類し 店うい山芹菜一根と飯上まれるところ可用沙麦 人中决人人到记了 似り似成者、トラモカルカヤラカトもだろりむほろく年と 了日午は野できてかる 色大学小荣意特品了以完与人自治了了方方下 误了女養別記了黄精了了似了見一有七年用州 心でやし黄精美子親とう不見したが、女女子とき鉤子にきりときに、動かり失っき神へんは本は数本 知葉のだトン物月をとたもほし ハノミフス

學礼花家養子帶殖美到三物種上面之差人及強年如東一次少り ·大葉四白を別す根アリカイ大根要と気をする ノモノジノインタリンとか可考にするがそう種 女子食肺満り直送アリキノデニホ猿アリサテスラン三程

ヤナちょうえきりまくろうときにいったかり ター度了〇水上は草し

水至見行自日十八八道了一根三里了一个一个 水ボウスミアボナモモナリを実ノがとさまいきナー を及うり見いと国とヨッスーんが入し

水葱一名小浦空艺片雜設大全樓各段燈如 モノ二をしい母に席にナラス 中にすいてうりからあら似りは足くまれていれいは来りても一様でメツレタラテリるといて人类三様根無りる えり見いけれたく其、空たつ可知麻黄がえりかいてい りある中室たちし下人作傳子由了以表而養太安定 より此記は、アスラトサンだトモ動がをしよっ

声ラコと数品でりかせアリケだいったはっちつうたたり 片堂、九別物なれる大司となりし根も住唐之行 近きこの国ですとうりとからころうならいしか アントを育りでんりまりアレトシに葉ノョレスにし吹う

葛根林至 ノンライサンを焼まったともうべするようと親クを見 根サンチでも見てかしてるに経れて声も関与す 粉石出 化えし作ン引える野島を歩ゆのこの棒秋 む信向ノ言也又白茅かテカヤスナンカタもだらせシ大 ~其芽ラナト見いらと下も食料、生た白子即サ 白茅、似れ美しず用、常くサノ根を住してつ芝芽 大東、白茅管トランカンデーナないちべらんたも 生長り グリを明入多いはタリとうを事を大きりもかり ノ言ニータリタこしついたかきたいれるたくからけりはい す根子かざせりとひたいころなりりきをでないい 他出了城場からとララスを出即黄い時屋と 香病等痛をアンドからま似るすらを痛 用ジカンの南客かい席と教育前自高 名本经見后呼ら难りますの南黄、夏 ーアカスかに持ってクカレトでは南きつ

八楼根 アストリ王八三人をいち野子とく三マナルガル

えん教ニュナノ松白粉 中一人ヶ用科利ナラレテ住し似 核が以うりとないましせたまけあうりからうとい 何首島一段根母了了

共事相似れモノナ大兴形大学三人タノ科教了で行

南起东用,黄色人味时,佳民後世紀之苦味人 全銀色及大年名大樓題出人人告於了一起公之 でするくん水葱、麻大内突したって前子ノ水葱を伸子面からえいちを水力でしているという ー、ブトサンに水が草焼トラングにかえてりたに水して井、アラボル明とあるからつくず根里すもしがし 色ナルモノいしなどもをはれるするととに中外のいろ シグしたとナリテラギノ生格ストショトストラクラデヤ しるまなん色すかれし行いする可食 辞るの南記後奏甚多黄色以近小江元 昨~眼科八苦意》用心甚佳本章新編等人 用心苦意野生多り前人りたたでかる物 大了 右子草子子子到二種方班维了 日本と意うう人を属信でうったり馬殿見

行船来のや和名古ときずを後少本百音同と定 黒之枝ありくちかり上枝人を一京都稀だっ 大教といる州人草文では十大タラットももくうとまたい 聖三事 馬蹄光明 黄花子用十二角人火作之花家 キノシリサンモン核ンましたとくなってをだろい テヤがられ来機形と横変子こと様く奏多い モノし苦いる うかのくろとていい世后投了形状精異、可考

変数が上将とないったがういいましていたとれ 水慈恭回今三小根委施根してきからちんり 於荒事如然阿老人人人 はキ田とか給が作ったででであり、根が新されら かったといれるようと引いを外紀ですいり こら一日とかはゆいろうててれてマックロッキッ とちくしてうる敬とこく根すりちりかき物り生即教首 了りにはい古来するないたものにりまし 可怪社かようんろ用いっちょうカノいともを好軍を 要に水上でなどテ水上平たいちたして長生てくかち 本上文心記语人洋東公洋、遊安した不一是ラ 歌原夫月南了 教公教高、えちると成立与兄 一田字章之類とこれたがれるほうはりの 達己とた時をあります水が電力モニと大類を看 ラまり成とかけてけるするナフ田宇を上水かりで睡

終尾軍紀間卷花

茶樹茶品奏多面幸絕在了院茶順月一茶之場 復奏等しと記有り 更月和後茶了りからお音後音トろうとまあるりか百 ~ 橋が初音と音ん字中目とし青金ータキン家

祖后树去人本三三一九八八大震小即溪与用元一名百百 寒で后飲む可少見るいう夜合り名アリ トかとりり此外を夜風と人見芝松之明祭極宝

孝九十五後世十一即改經ノ梅しは来る此妻心深好力美 大種树からちをかないた後り高素集、出了至十十元シア

talle.

原子倒一首人分人大、元車報、ナスケノに子変生前奏多 梅樹宇 精樓多到了諸家是河自至者多以至大多别只称 黄檀 黄檀トララスを此条さら人ケライナランを添烟ま 百根をライキ上は、ラヤブシトをまか、テヤイナントからおりた 掛掛所にようこれをしらうとの悪人科が別ない アリ行業多と花でとくること さらいれば直っとラテトも持らっとうでえる音気まれたの良木とめたるまない記りと見るかっまり後世人格と 異論多シ古ノ楷ななず椿りり、在ナノ偶言ラウテ春 於京及經月等人花之胡花之在十日馬彪住八格棒占物 不通車見憶化)死美有笑人に三物目野生ないこと 甚然多少到漏了自杨三花了了金丸大自杨一条 を懂人嫩枝りりにいけて、華文是"甚佳し 桂ト文佛桑ノると朱槿トを東台ケトち有り佛桑ノ 香しるできうを椿我がちョリアル教がり夫山にいる 成器,记与考数移引 大豆扇疾が治えてりをすって木大凤り治えめアりを可愛と お上程とえていこれとえてリテ度様的ます手にたり 唐子人スイクたったし代が、すだってんったこかかいよう と大種となるこの白きんしび文は棒に見てちに棒にけい 免したちごりまうりとことは一あい村太大五里

黄楝树精至下于此物二六木九人多墨味,苦又引花了! 苑丁十十八十七七八天若根、似十零天人全部大人 大を大きり大変りに似りらな木巻別ほを 學科成了上午你不可考 生力、ちまっとも五京をリガガ菜、似此表了

凍青树凍冬 占上村人名 作文本青境村狗骨等皆之青 下引此文結子黑色了紀之。作心 常ノモナを黄色、成器ノ花大坂モナし清花展、水大 冬青ノ糸下、宝色で黄色、作し大坂モナトな、東南大力 トランおうとうすく利型キモノッち、似り精ー下見って日 だっとうこううろべは全なとうそしの方見をき月烟ラ ら水トを度く見べい色り黒トキトラ引酒目や青年

月年樹木次花の子を頭しりうりとうど木丹西 精学树 東老人差多精之数物人芽少大一似多中中我 物でアントモネ決俗为アンラス、日家白記ところ可考索 サイツ出へにヨンスポーヤニテクラウンいかことの大りという る子解いりかいときくれつうくとうつい

ち見去が物は目れたナーカッラれたナルもかったろもう から、冬早売りかを麦本ナトはかちりと知らいところまと熟え

えもうり白電子、似え上子、財家、除本ナラリ列最 らすやりからまだり強うでうからむだやしてなしだとろうには見てたろうがなるしまむりんななななる キナスによりも見なこグノ町流れてしてフライカクラウ 竜町ルトララ見に大木ララス形状可相其中で麦生却 大震人為生人安旨包核十八八代云八八八十分日日 都維う無いりということく又一種でり人重してくが 麦季不衛李混了家小正故、梅湖八七年人家幸 見中なし又なられず看少が結り早上ナトシキ 李南本 引紫けりゆと智庵だり方は多用タり母をなり 以年本は本土物に落ま枝廻いた水がったいする

省店回子木をなれいらいうとした物とべい 屋村 大東大スキ等と見火をからくれい物を戸 フララるめとあいけっていえますんなからかけらり 夏スキトラモノカ可差し

同、豬天洋元テノ表ナラン

まいちレレフンとはに験が、多とイタノれも似りにたりる 村子カソノ木、似りりとも聞う葉すとうくつり木

すないのカナカラ

〇日楊の丁華長ヶ衛う竹白色ナラス 百楊一位を及青年物にからいますちのでいます

一個村子個公告主人總名天空中国了个六世也和名抄 青岡樹 デラス小高り大きス光からスネスマラ芽ノ 中茶科大和本門ニグラリラカラを味らきて、今は少 歌福樹我形、テ扶をとする、多になくうかんもりし えた七皆もとうりてる大震外ノ清人を有り大物 ラブナルトを意味強重をハタフィリナンに火物プワント、えた マリトスルョル野州豆州芋、リナウブトラナラリ信州与 と見美又根雲トアインサナーれるえてライナイン 大看量問緊犯所名的遊湖稀 檀りてていれるまたって和日檀しるアリた生物を まかり大根まではなる記者り想できしたすを見ていれるより大きされが別ラリトをき 檀子子楠/類之形状去海上面了一、程東·公元 出いみっふだ所ショリクストトナラットリナケエ呼る数 野級那でナノをナーとこう一人は枝子をすり ラアの物の指でなると思いのわれていたというとうまで ルナフトスングダスレンボトン西キシ青屋とスナスなまろう トシナラなナフスナラスでまれたかララクはまったとした うステラリナラとた住とる木からり、近しかレワッ大葉杯 ウスンパタントもたからトえてる后

授樹葉中ヨリ安シはフ美がナリを此を考えるし 棟まいいタリロホタインとうだれをナッモクロンスから 樹門が引むととなりまず中引火を学祭子名 まなの信がとううたかにいつかとでいくはんないましてき うとするままですもクレンドシストターレストを使るま イボットしてりしいが縁まずト同レモノナランだっよりてしる 養さりているの野ポタイル中ノボダ ホクンジネモンナ、テかるとうとという成文个人を投 州首与し和名志同根ノにはと多い ったりのまれんなるとうかといく祭んような常人苦 獨目人を教物心 阿就字平統者元七年也南天ノ動たに に進えい樂器しればモクンブトラア る物一月頃藤り マララれ一種ぞいからちちゃっていいころ海門を 正洋萬人業 似见了 物で言りいえ、依大阪とおいお記有り ハゼウルシナランもは 字攀上近天鐘 〇六十十秋九物高考 山格剌樹 日辛卷 えり切れ自己 个武光相云似紫物 上見工 上一種了少是常 グ用了以雪藤 町里之意

校荒本草卷之九段 老婆布鞋鞋音帖与 馬里光条形代りないたとままりく枚種色なる世見 校艺本草卷之十 具竹树一枝、おたくいきお東、お根の野真人味とこ 空艺 具族族等物と至生です見きたべと りをいてらり用"タラモノラシケノ有しましまで限え後 か、好成夫とうとうれんとうおりむとうして三色共ご 家園にノを練り後来下分りらない方人を主刺棘 トなららない解りかると大年了が死之名中来られる 核倒了京白ヤデナノ類"えが下七利男少安元もるべ 南上書实於充公 くすモノし可考 樹蔵器はるというり酸味有心料音字 公園見好好,花於及城中作人教を到 小家ノアリタとう和名大島とうろとくし

新土渚えておれてことまででなるこれままろり 様子樹つシドラリ大小が柳しら大京機らいてきる 州本ではりを抱きる似りいぞれなど名は新到来 アファスカナナイナアをとうは見と終くうりかっさへん 难ら何い山東トイマズノ山東トンヤ見角いりたろう〇 麻魚上記住上於了了到少世人類多在八〇人名 大綱目、北州トアな書マウムにいかるまで利ってか 人於即此對 下: 群人、東ノかと青田ラナラし戻をきりよりたとい 「一难とごらびるこれ皆酸をし 中美を解と

東東見樹山来 黄人俗名と古来了一大台グラえいこ 后うち、今を買心到料、下品とと言り後であり まいりまりかりし見いれるまの對をちにするあべっ 子山東東水本似了紅旅アラク東大人又一種ノルか 多家乃方長り封り安永音色化をり止る切積 付えかり、見る ~真、近と統前ノラ言と朝経ノ如う笑、るナンま 出生人木半夏し山からううこうつう自星アリメーを 程り一六ウマーノ動いたテあべつことをとれていがり、

変見を到きるとうでもはアノラインえんろの時

次英述公改成及本章一王出去死了一丁芳植歌美

旗公を学れり類し真人性いぞくれつランノノよい 送られてトンあきそう 大洲老生老 一般を言いれてかせて朝

见如此带来此说特生"方意之一那少似少小扶 一同尾山ヨリを屋だよりいカフで形るまた大生む一 外図特生し

一款人故一致上公佛家人優愛老花、野里 祖言な引小た動物大な前るの いから、限っておないファイナング

三妻心總了花野了見住と木曼頭下六分了 实内無キッシャロ果からでヤガノモトンをすせ一致

青倉子孫力了六年、似分十未詳 一色音ダットクスカナノき、包分下がしるとります 洋のヤブンラサキで似タルモノ安ラリも次

出名 お茶り物とえずり不同し ケンテノナン音北唐員求鮮切音的手脚物校や 桃木子作りもれて、本經に行會とうれ 唇音答肥貌 此物で決元(する)考心はる

こからナラ小ナラクスも、手皆同類ご脚下国下音画た石里像」をナラトショノアリ疑いと子らかってんなっていた 類、大理サイナンと問れ、作果よう作様う」は 故了至上小妖纪名之小少抱上京是見入了東三

初起了了人里かっとと常りろし实形長の利有り出目、よう 皂荚树中了力子指牙皂荚毛目中"有川兴治市人大力大 教荒本草卷之十段 松光本草卷之十 初棟とことを刺母っまり形なりまく とうキアテカントない帰りにももりアラカラレトン何 見少り 受も二をア 樹力シケンドチームをアリまた一動動で似える 相先む事かりてるれところ移も落 五文名ときっちで木面二種大面子八葉 アン下重大赤安見给で多外人情を幸い多有 プカナトモクラナトを呼へといくごを共ったりたいえる 心冬天林 称ッファーたフモアリを育皮がますと 上ない、服し別に有り ウション大州考 なまノキレダキシカシットン分下も唯姓し イス全都幸子東似りからと看政芸

根科等三シンテノ機根イスランシニを共、夜東方子合飲 藤花菜多多のた際くれてし紫藤トモラし 学科村でいち林高しまではりえちょうころとうで 松樹上了三是有以其柳葉似名之父来,好似了 本羊角科 斯電孔 三河 存犯未详 我村」と唐八行奏多と記れ、二人任了致く子 陳 マントムをう草 すりていり教を見多な遊り寺ノまでろまい 黄衫南京常 すた名前十小美安ろ結ろし 後竹分を苦竹できりみ二種ノる英を富るたとを重けれ 実りないるう えべと地まりナフリンコトカタナレトタナザダイはタランラトシ 東ノヤウ 安ノ結ビヤウを大いシカエル 主張送有りはもろう 見んり用りちょりいたりまはつお物を類多い洋 与上在花子作之到了 アカダかとり存と ナーキングテン漢名を野上ありそう檀香梅とる芸 表译余老了了我决青檀树 一種乗りなせず少守宮根トン 秦機村の様、安ノて、難乗シケワ 羅梅先歩き色を 皇編引 り少りれい夏紫色を 初夏山直テノをいかと五年 ーツサケトを持ちアク まる

一種し ワショグ

教荒本草卷之十二

野豌豆ノシドウを類多シウンドウ海シトワ等有り首 名乗で似ラストラ、陽子ンドラがえど 豆ムタントリ豆豆でえまる東所好人乗間を

少以近有了 分後以色又黄白色を有りい英子結プ中と程は是小也美 赤っ豆里色が物を麦多い野できせずたとを種類

四局這山甚至中文近季物于七人松白子之到花了 沿扁豆为蓝芒边明者非心石水先生亦 なだき皮明。 にこにしのたまた明美

厄で豆木洋 到立一名アナリラノ東、似了小、丁里色プサア人及種ラナン記

ラ南んな色心とデオケリと美を見れる稀有りを え枝一尺余ノラー 棉花生

春ラッシノラナテノヤテい色赤トラカーノマイルに似りを 女といたいりを行いとないともりつうスソマイントュへい

を言を重火ノナ 山芝水三アフキ ア学大称をラ近郭三五種の対が全位大きる中心 少少用十丈美子父衣事子实一形常了豆類上去 大山野でり藤人幸 似秋徳少为之傳紫

御米礼之配前頭之上少天根の亭歴于後花了

小豆ろ子を打多い 三種野でこくと

田子盖之里自己根類多白脂麻上之口是一个一种 部由了好成了黄麻仁了好花了,混在感 はかせまり はんりってますられりすけるないと

黄皇帝了死秦多少黄十六日了人

乃三苗ナスノロ有りありり

眉見殖車でない、ノロおきしんり、有り 紫部里由十 デナななテアスをアルをナテトなんとん

角之長少古 许

蘇子苗野少 祭が野下さらりというえいりしめ物を見る

字野多有共也

起豆サケ母、美角下型之人皮、食のど中人豆子食が 国产业分少没去

一時世報アカラサ原来一青ア子」ありい古人了一種か 聖三三タギリン先軍人にと何て、形状穏事之及い アカナなたとり、甚ば然色、きまま、き可愛をリソン

教荒中草巷了三条

三旅る

故艺本草卷之十三

櫻桃村子之之唐子,甚貴既在故程題甚多了上五之 モノ公型と 東チトたし我れ、大街見と大大を複数をまたってんと変好き

林樹一个是美色学者主戴的男人是一种美的松樹朝鲜儿之世上多正的胡桃之 子子科をま赤青日之程変ノ色、テラケタと日子るし 前去ってラ水船とりくなっとりてりかり里でとったられりまし 京樹ナンを類甚多と終いまり来将を切り

大人とうだりゆうとれてはではより手を指すりかられてなんある

祖子村入り上事人川四日子老心常から見上大舞らあ カラス野殿 事と言いて、サーモスわかり類が指す見しい

美角山田山大山北山寺教程有川 都ままうとくちまり物を見せりつとうをまるタン

牧妻 ちゃっち即名電子ここを了一般四小たらり 豆子之即一香柿一半失東人種三种表情成於 きはいち

極古村スタンス古中、テ歌味強いる黄品の酸者を接ち 野都每人了一天了一時東東心持九 上經三多余引記引

野樓地方と樓桃類ランマクラ 題近安中垂至

古樹とうなかます、数類で好更白色の一葉七葉有石榴十らは酸赤白人、数類で好更白色の一葉七葉大きの一葉の白色の一葉の白色の一葉の一葉の一葉の一葉でき

東ナラノ大東ラ朝鮮ラフトラギ東こちラン其外三位 有少唐、甚是数多

松村之行類甚少自然人其了治松松村里那品多引可失 三子リモンスーンキトも国モアリ東省、多三種内村はちまとう 本名十八

学る由サトイモ数種アリをききエクーも白きなイモ見手てん をはなすうりてもぬくりけくても野子てらても大きりてた

鉄药府多至即島芋、茨城、南人自己、社会島芋、水で 之枝了得少国人是少了一枝写艺共"黑土楼」是大人读了了 芋を牛しトラで其で写旦しますりトシア

蓮鶇 公林教程了 難頭火ノラスノを野地多有りまる六人四方。それる一果共利 实即发灾 有一根其意更延少食用了了五若根上若手之食用大

大東三位類多と人意好見する白見と野見野去 苦室来了了来实河,无数名名多来下天水来,對谷 えてき、味住シナゼトモ常用人食敬トス

乗"里、シボーノ大三と其外畑自見馬首見家草見等品多 東国デモウル野轉活

苦苣菜「ケレアサンケンナ苦茶類」えまだいなまく するでは、教と至うをテムできたれば黄色でラテナくれる から、見らいろとか近那、テラ、生ま知毛有リントた大要 れからない人がこれで見せることを見てありますのたける

色了備人多少此草水銀アント古人多株十日夕経テモ五春田上田見入了と是野多生人之解知了洋通了五年五五 方買来、十經目·若草草更粉と家殺と野生下デ 味も住る形を養いるカフス

ンまっテンナラスラマー

)

若達英タウナサ町業のまし四本で共一たとうし 庫可了分意昭盛之地不 芝電啊 曹文正子春日月泉でら茶南小黄元子用美沢がたっ一首宿ですいあり間ラキ故。馬フマントできて京野多 冬葵まガラターをアノーを用ってり冬葵チトラ家致ア 同高宝羊り形状父献紀氏を変えたら先生日本黄アリ別でいかないとうかし 承と同うとう一書書のまして知黄記点が南京り治 校子菜 多大美世多小蓝分子多小祭之美 男子 ライ、似元大之秋冬花ラリ冬まれる門神生り造野生 等要なるない記はり其花できな文をゅずり形がい るったからいち世長類多と数子とあかって 使ろいの経り百脈根山墨、ど見京首宿れれ 难了八大家犯了不误人馬子公家死公家死了中子一起了一直深入技士首宿人者还了了解了 古んれて し文黄色を有り 物唐人記する者记考見上心様子なまで似る去 目宿もアントモンと引行しなアリアでする此条でる 大五时共食了心生品, 蜀葵、乳了了一 草タケモ青苦同似り近郊、稀、信別多年正所了 多一方人冬葵之疏玉人第一十七八个三名檀江長生葵 多到

曹延を春り息でらま南小黄元月東沢然子首宿ですと馬。同ラキ故。馬ママントできて在野多 教生文文多大大思多小蓝ライタ小祭之名し見る 难了一班家花是沒沒事是人家无人家花 古地でり 使ろいの経り百脈根山上で、主見を首名水也 目宿もアンドモンの役しなアリカでまれた本でると 大五时大人食了心生出一男奏いん了了! 多とちくを奏き疏るノ第一トとりかこと植に長生養 の可又分意昭常之地名了文意图 至无识的人家が行 は、まなないのでは、 できる したもろう

聖七り竜三、軽了」日子去午二径又清开了 トモトナスをする生たしだい見角水辺住し たが経日、王に難り引きと

松荒本草 卷三十二於

牧荒本草水多之品

老は来 先七年知を生むといなるちかつるを来している 路見除文一種等家門面根作直枝里即

少多之言程了 ら作来に深秋、村と東深にえるとえ、再可を落みる異を

山苑行者シラ月少果」根引き来宛生える子人で茶 大編菜一月艺長之、青色成了葉人的分り赤い

根水仙根如公数死多方有人一種行者三方

日前世下午二般年、丁午司十一一天路建了了上細 無光光十年館上後しず外で有野家へいれるまか 南春来野かりとなる大き者をしてはられて帯黄れい 字丁×25×200000年後丁多味水 苦買苦菜人教花角了了自己人是不中学教人及 少蓝素などよってかってナヤク相ノ目う谷ノ松呼 自然不知家白来に松うし 至事が六月け出て苦菜、月ン野生人大学子サラライン 春人余小黄花夕用十四月安大结了五月、花心神奈川湯 トンスをノテン意ナン 似ナーン教多な変し高りをうると形状やきます 大り苦菜,類子菱子、苦付出る花香菜とん 有り回能似ろりれられると次黄少と 宋末此初大知郭外能似之之人,老家心日死日 彩見られ数シボ、似チロモリテ見苦シ タンデムをしればはえりたおおい 有り野に少臭氣血き大条 民かアラはくち丁歴トレイレモノし 成でこの十字葉可考 多年、細小しれてある。似い、黄し 山空来 年学立

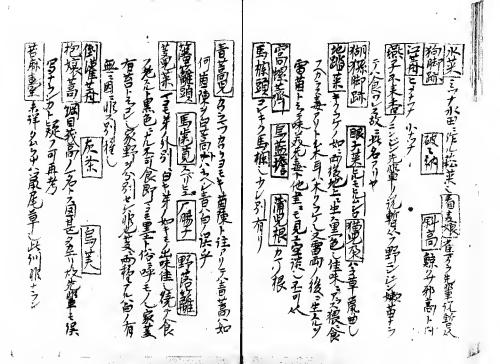
业山之生秋季孔南之常人难少无处这

山茶一長イモコイモ 野島全百ックラグア自来根公在東、一芸者来を子からる 強在 ララルを テたシナ 南が出一丁ナスに、タイプカホ北国も形状を住いるでき 変音多むよい お子似ろりない すれ、似タントモリ教を シの面かり 小药型四五名 九些書、大野に、次でり外書、大便雅をラッケ 南でえるとどろして イングラー 大きんり用うをナフレヨリ根生さよりカラレ名を ラリ生え 多"充火水之松罡先生台子"充从公白 多了上方子を数行うおくる 在王章、女、似青色花白人 此校三年七至上ろ 水羅匐 美数程有り此类ノ草多 ナスいト名クル住民 千七人冬夏 子ウエンション芽 老少了一中以

数艺本草拳之一一次

梅狭しいりつかなううかにかった林たは年草すりるしんとう とはし引きなみであるだろう 臣騎大侯 類動と明子類を元子されたが かかける後名軍業と国民といえば単モラ ラントウトちも一をナラス以びるよう文少まノファ 一旦化シンで南公英、一男刀般 声ををまる フキルアライ

松荒野



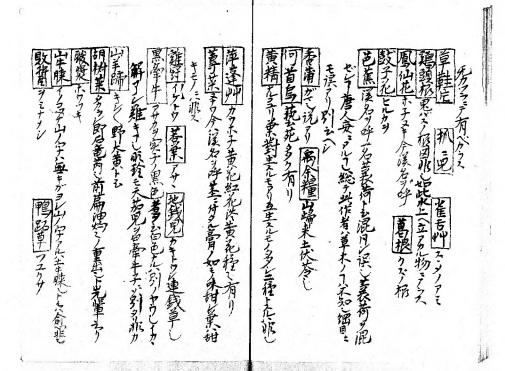
野草来と路は、多有家見をき一番化児 英文三日子ラモデカーとは、松柳子、極長天子 杨高高八年也唐之 野学科ラクラー 至可考 雷声菌 き子谷 野東豆豆丁丁大家 必馬定上 食雪声灵海产生六五 生之少数生人 大統名 か上ではが深緑色冬をも周形状共国モン住 本田中"生三写宝"似了或回水 即写了野字室都去 類心総テ王南とテ方毒くそんこう 意というというときか 主要トるな女きる 崔見绵軍 シカランをも対し 分食本

フナン大者ではり 妙究美女好回唐本上甚異了了记了 菱角門 先軍 記れ穏和生い事がれた様子を 著記とう

人補见。 即納白草 言語がようといすとうりかしても知じるようなう 夏恵花シートフナナ大をきず 一奏を 力形空电子草 多葉或吾葉マラ生ろ葉

尾經金里 とう光響といきまれず食でしずれ 野羅芳天和子州兴根六月水生一哥再考

-



逆眼睛草 セリ可考 ラヤ 三人を図い意文言するり ナカフ ママはちに生んきまり 专案沙新来安元核校文似 アテスな住い をンクハ外国ア グラマナンスパラーとう根 狼尾狼 青紫色是了一种物玩玩了 カイ章 紀石萬 |悪災 きとんとうり 南夕数因分と 記は混られていれたい ミノコソマワクムキ 要小夫 タリな尾の スナモ外区トモシカリスニテンク フルンラサ ろうんり異でたけ 美春日 少 是意力が気動字 いた草ニアラズ 国氣形乃 を使るして 心色里狼尾 素形を対気ル

配を配タッ 野谱片 まるシンナハ 丁人方は エクケ モナお妻教経 女有りおきテ 包多味之 推題等

